

令和元年度日米共同統合防災訓練について

このことについて、防衛省北関東防衛局より、下記のとおり情報提供がありましたので、お知らせします。

また、横田基地周辺市町基地対策連絡会は、下記のとおり、口頭で申し入れております。

記

1 令和元年度日米共同統合防災訓練について

(1) 情報提供内容

別紙のとおり

(2) その他

2月22日（土）に米空軍のC-130輸送機1機が物資輸送訓練のため、横田基地と小牧基地の間を飛行する。

また、航空自衛隊のCH-47輸送用ヘリコプター1機が傷病者搬送等訓練のため、入間基地と小牧基地の間を飛行する。

2 口頭要請内容

(1) 要請日

令和2年2月17日（月）

(2) 要請先

北関東防衛局長

(3) 要請内容

令和2年2月21日（金）から23日（日）までの間に実施される「令和元

年度日米共同統合防災訓練」に当たり、横田基地において航空機の離発着を伴う物資輸送訓練が行われるとの情報提供があった。これまでも、当連絡会では、土曜日等において、航空機の飛行を行わないように要請してきたところである。

については、次のとおり、訓練に関わる自衛隊に周知するとともに、米軍横田基地に申し入れるよう要請する。

- 訓練予定日が土曜日であることを鑑み、騒音が大幅に増加することがないよう周辺住民に十分配慮すること。
- 市街地上空での低空・旋回訓練は行わないこと。
- 基地外に影響を及ぼさないよう安全対策に努めること。
- 通常の運用時間帯以外での航空機の運用を極力実施しないこと。

JOINT STAFF PRESS RELEASE

<http://www.mod.go.jp/js/>

(お知らせ)



令和2年2月14日
統合幕僚監部

令和元年度日米共同統合防災訓練について

自衛隊は、下記のとおり令和元年度日米共同統合防災訓練を実施します。

記

1 訓練の目的

南海トラフ地震発生時における在日米軍との共同対処を実動により訓練し、在日米軍、関係省庁、関係地方公共団体等との連携による震災対処能力の維持・向上を図る。

2 実施時期

令和2年2月21日（金）～同年2月23日（日）

3 実施場所

関東地方、東海地方、近畿地方、中国地方及び四国地方並びにこれらの周辺海空域

4 統裁官

中部方面総監

5 主要訓練項目

- (1) 災害対処に係る在日米軍との共同連携
- (2) 災害対処に係る主要部隊等間の連携
- (3) 災害対処に係る関係地方公共団体等との連携

6 訓練概要等

(1) 想定

南海トラフ地震

(2) 訓練概要

- ア 各級司令部等における指揮幕僚活動
- イ ヘリ映像伝送機等による情報収集・被害状況の把握
- ウ 航空機や車両による増援部隊の移動・救援物資等の輸送
- エ 艦船（護衛艦いずも）を拠点とした搜索・救難活動、洋上SCU（Staging Care Unit：航空搬送拠点臨時医療施設）の設置・DMAT（Disaster Medical Assistance Team：災害派遣医療チーム）等との連携
- オ 米軍との共同訓練（救援物資の輸送、搜索・救難活動）

7 参加部隊等（参加部隊等は状況により変更となる場合がある。）

- (1) 統合幕僚監部
人員約20名
- (2) 陸上自衛隊
人員約2000名、航空機12機（CH-47JA×4機、AH-1S×1機、UH-1×7機）等
- (3) 海上自衛隊
人員約450名、艦艇1隻（護衛艦「いずも」）、航空機2機（SH-60K、MCH-101）等
- (4) 航空自衛隊
人員約110名、航空機7機（F-15×2機、CH-47J×1機、UH-60J×1機、U-125A×1機、C-130H×1機、C-2×1機）等
- (5) 在日米軍
在日米陸軍及び空軍

※本訓練は、陸上自衛隊中部方面隊が計画する「南海レスキュー01」と接続して実施します。